

公共交通サービス水準が“相対的に”低い地域（東新町・小茂根地域）の住民を対象



東新町・小茂根地域において地域の交通を検討するためのアンケート

※ この地域は公共交通サービス水準が“相対的に”低い地域とされるが、周辺の道路条件等により地域の交通改善のための**選択肢が限られるほか、「持続可能な取組」**としていく必要を説明。



アンケート項目		設問内容	趣旨
①	基本情報（個人属性）	・ 個人属性（年齢、職業、通勤・通学状況、車の運転有無、最もよく使う駅、外出頻度など） ・ 身体機能（フレイル・ロコモティブシンドローム参考） ※基本的には昨年度実施分を踏襲	個人属性を把握 各設問とクロス分析し、どの層（年齢層、身体状況）にどんな不満や課題があり、どんな対応が必要か、行き届くべきサービスを見極める
②	現在の移動実態、公共交通の利用状況	・ 買物、通院、駅周辺への外出、鉄道を利用した外出、その他 ・ 外出頻度、必要度、最もよく使う交通手段、便利さ（鉄道、バス、タクシー、車、自転車・・・等） ※具体的な移動量のベクトルを把握するために目的地や時間帯などの把握も検討	住民はどんな移動が多いのかを把握するとともに、現在の既存公共交通の利用実態より必要性を把握する また、基本属性を踏まえ、どんな層に特徴があるかを分析する
③	移動に不満がある場合の問題点	・ 移動に対する不満 ※不満の種類（交通環境の不満なのか立地的な不満なのか）分別をつけておく 【交通環境の不満】鉄道・バス・タクシー、自転車駐輪場など →既存の交通に対する課題 【立地的条件の不満】駅など目的地までの距離、坂や幹線道路横断など →現在不足している（ニーズのある）交通手段のヒント	現在の移動に対してどんな不満があるかを把握する。 また、基本属性を踏まえ、どの層にどの程度の不満や問題点があるかを把握し、解決を検討する問題点を見極める
④	交通環境改善に関する意向・要望	・ 導入可能性のある取組に対する意向 ※「あったらいいな」なのか、「ないと困る」なのかの温度感もわかれば 【乗合交通】デマンド交通、タクシーのグループ利用 【個人モビリティ】シェア型交通 【地域の輸送資源活用や共助】地域の輸送資源活用、住民共助による運行 ・ その他要望	導入可能性のある方策から、どの方策のニーズがあるかを把握 その他、要望についても把握
⑤	地域主体の取組を想定した場合の協力意向など	・ 住民共助などの施策を実施すると想定した場合、協力できるか（協力可能、不可能、時間帯によっては可能・・・など） ※新しい仕組みに対する一つの可能性としてヒアリング	地域主体のエリアマネジメントを想定した場合の、供給側のポテンシャルを把握し、施策の持続可能性を検討するための基礎情報



アンケートで得られた不満や問題点、ニーズ等を踏まえ、取組の方向性や課題を検討